審議事項（２）宗像市下水道事業経営戦略に関すること

１　下水道事業の現状

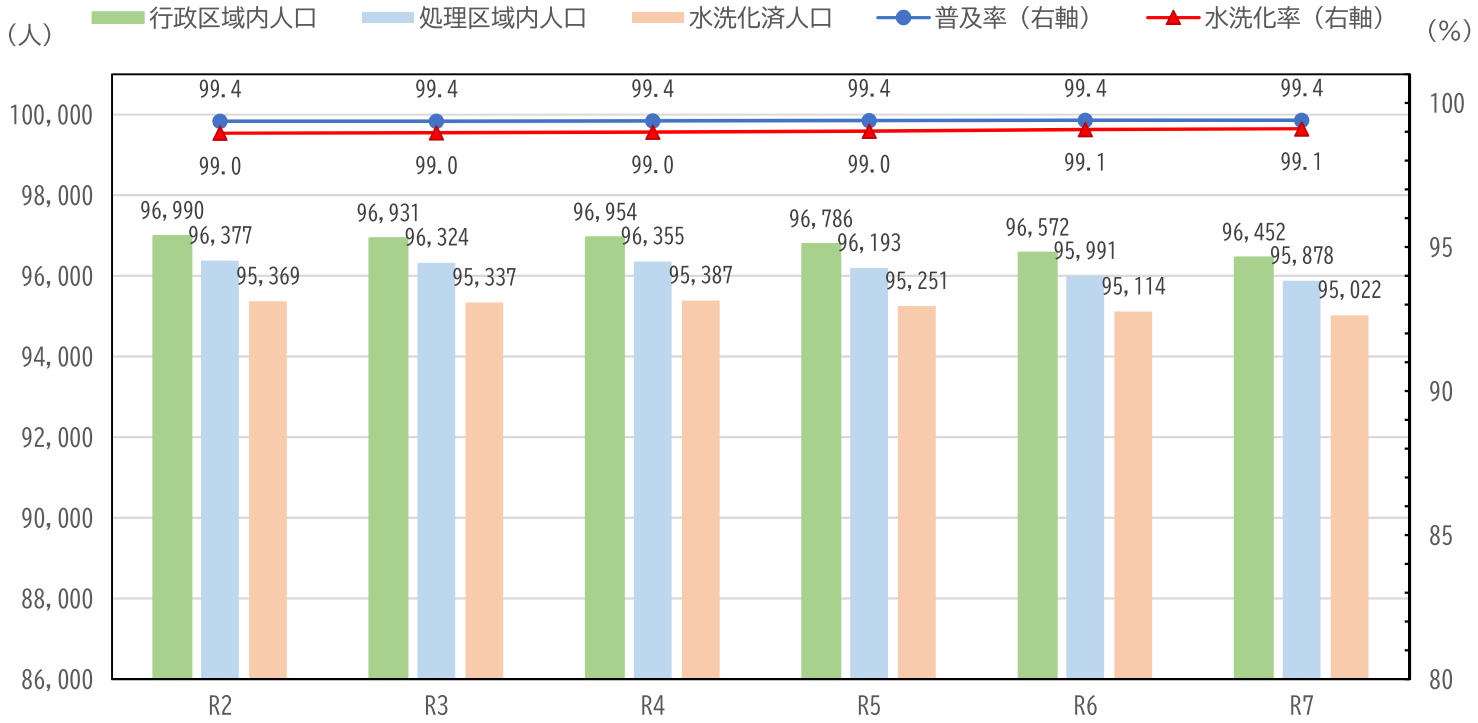
２　経営戦略について

３　改定の目的

１　下水道事業の現状

❖ 経営環境

【人口および普及状況の推移】

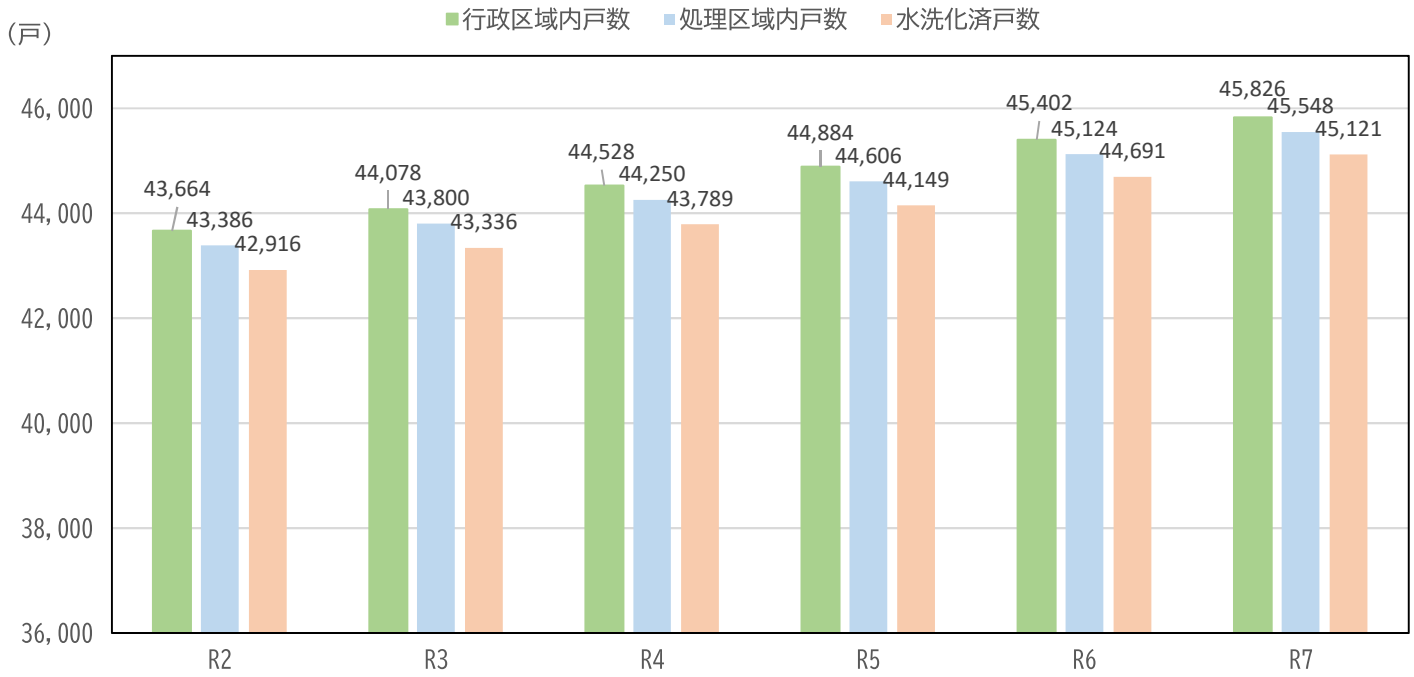


・人口は、概ね横ばいで推移

１　下水道事業の現状

❖ 経営環境

【戸数の推移】

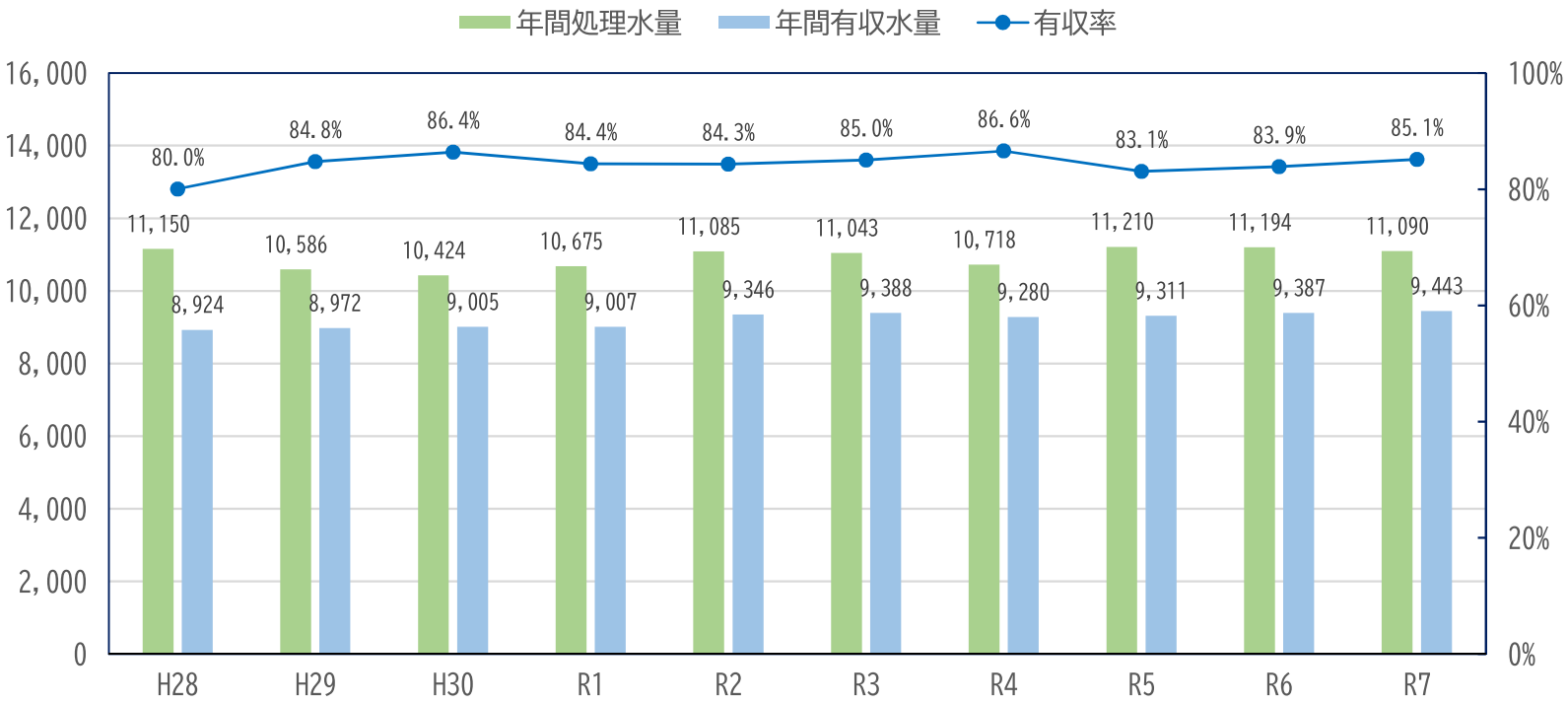


・戸数は増加傾向で推移

１　下水道事業の現状

❖ 経営環境

【処理水量及び有収水量の推移】



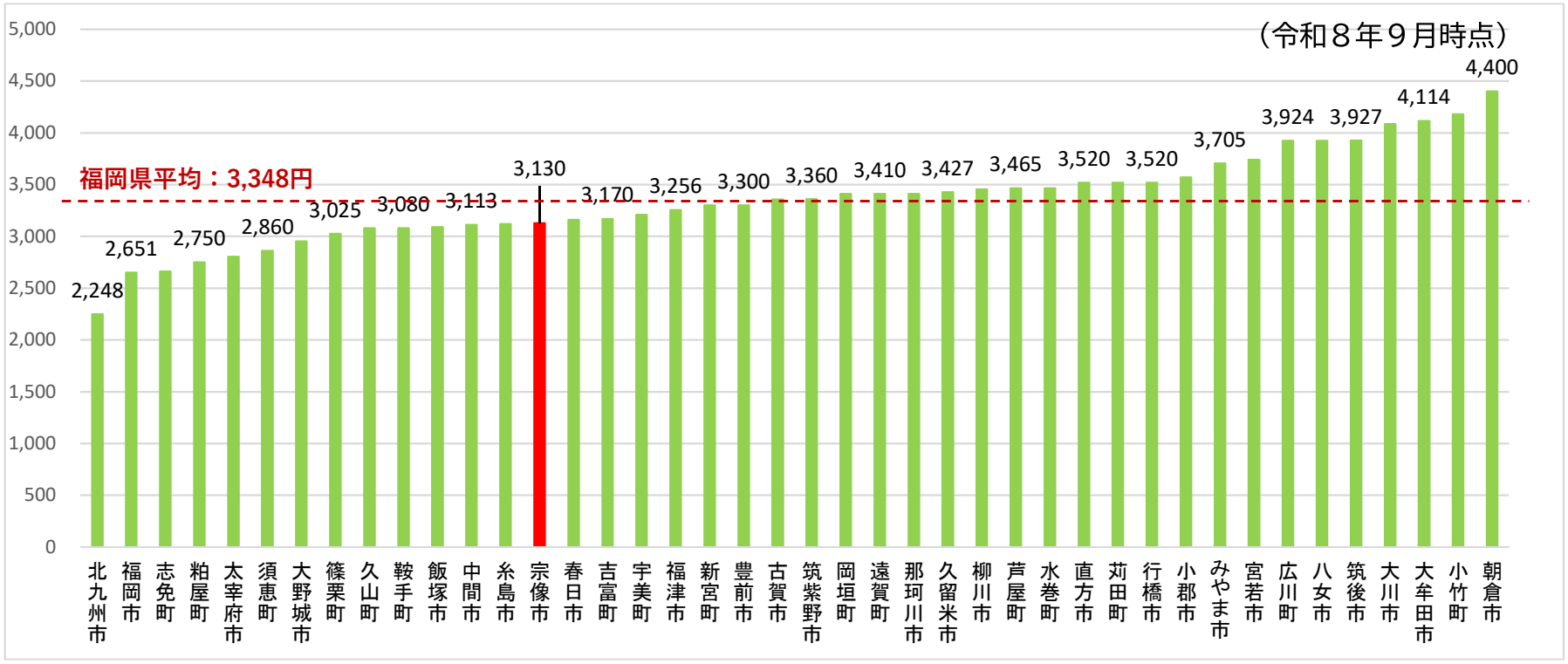
・有収水量は増加傾向で推移

・有収率（有収水量÷処理水量）は、８５％前後を推移

１　下水道事業の現状

❖ 県内自治体との使用料の比較

【公共下水道事業の家庭用使用料（20m³当たり、税込）　】



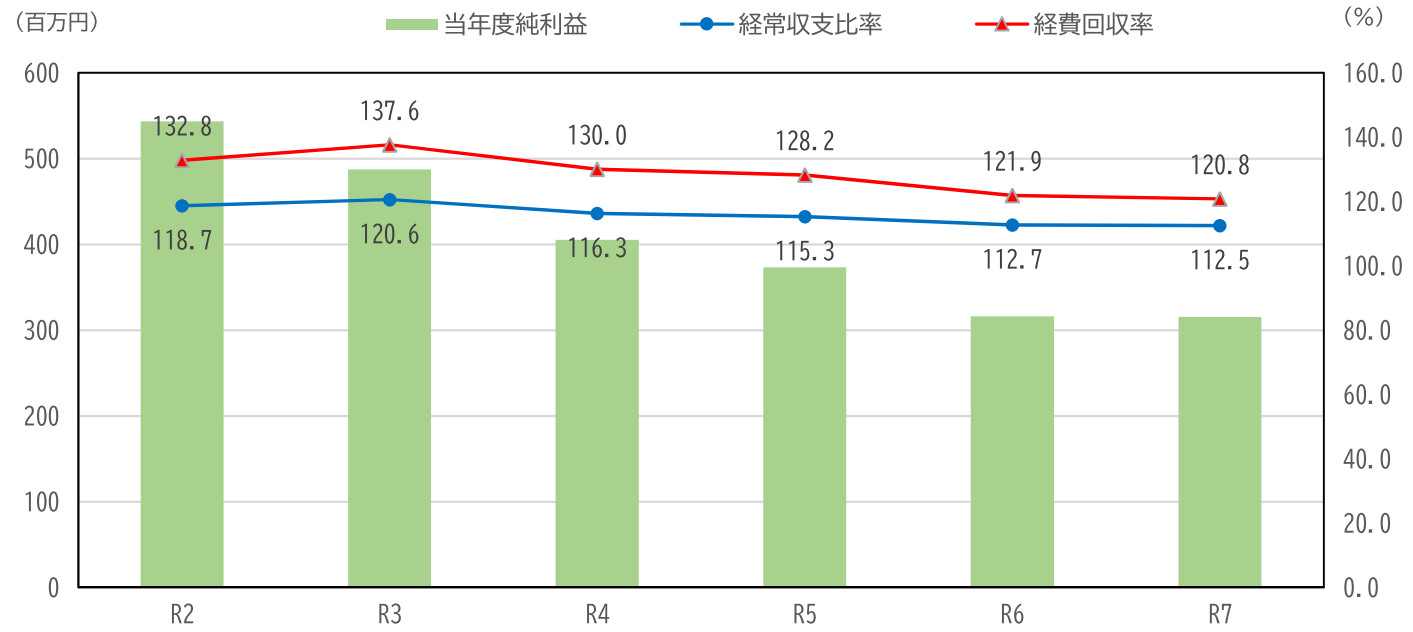
・県内平均（３，３４８円）に対し、宗像市はやや下回っている状況

・４２団体中、安い順に数えて１４番目（前回は１７番目）

１　下水道事業の現状

❖ 経営状況

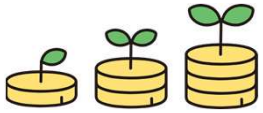
【経常収支比率及び経費回収率の推移】



・当年度純利益は、黒字だが減少傾向
・経常収支比率及び経費回収率は、１００％以上で推移

２　経営戦略について

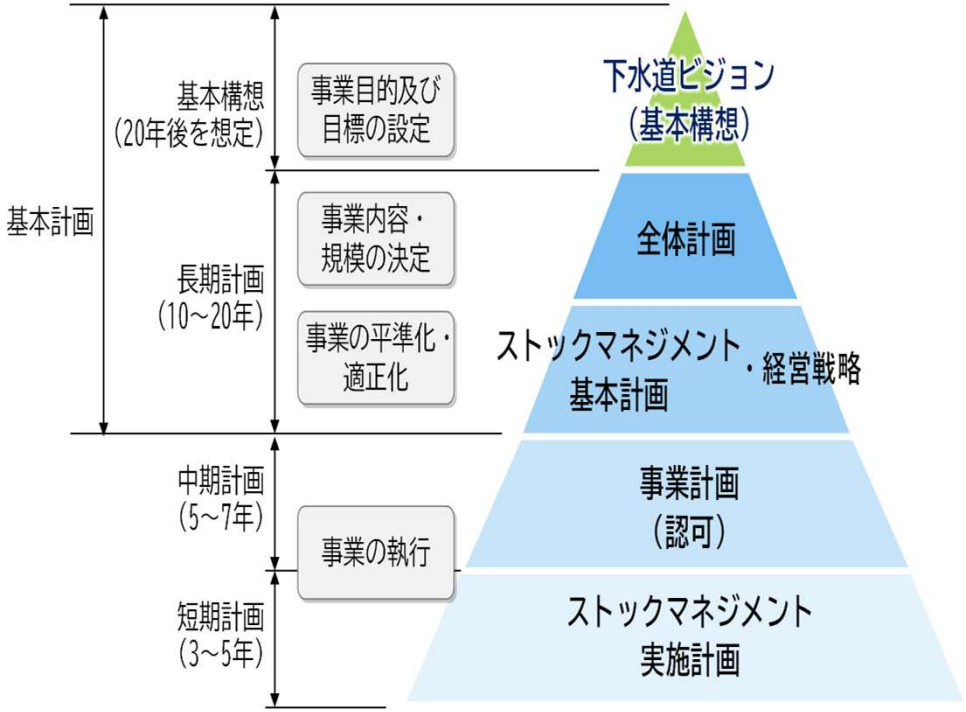
❖ 経営戦略とは



☞ 下水道事業を将来にわたって安定的に継続するための**中長期的な経営計画**です。

☞ 将来に対する投資・財源試算を行って収支均衡を図った**投資・財政計画が中心**です。

【経営戦略の位置づけ】



下水道ビジョン（基本構想）	公共下水道事業や漁業集落排水処理施設事業等の下水道事業全般に係る長期的な方針・目標等を示すもので、20年後を想定している。
全体計画	下水道ビジョンで定めた施設整備方針等に基づき、人口や計画汚水量を設定し、幹線管渠*、ポンプ場及び処理場等の根幹的施設について、能力評価や必要に応じて施設計画等を行うことが求められ、10～20年の長期的な計画を示すものである。
経営戦略	将来にわたってサービスの提供を安定的に継続することを目的とした中長期的な経営の基本計画を示すものである。
事業計画	全体計画に基づき、5～7年の事業の具体的な施設整備計画を示すものである。
実施計画	事業計画に定められた管渠、ポンプ場及び処理場等の施設設計を行い、工事を行うための準備を行うものである。
ストックマネジメント計画	長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進行状況を考慮し、優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕*・改善を実施し、施設管理を最適化する計画である。 （基本計画）点検・調査及び緊急度の判定方法や年間の投資額を示したもの （実施計画）工事発注のために数量や金額を算出したもの

３　改定の目的

❖ 改定の目的

現行の経営戦略の策定後に生じた、下水道事業を取り巻く

環境の変化を適切に計画に反映するもの。

❖ 主な改定のポイント

① **改築・更新需要**の変化を反映

※ＣＮ処理場計画、管路耐震化など



② **物価変動**による費用の見通し



③ 最新データによる人口、有収水量等の**経営環境**の見直し

